

「 渋沢栄一翁 」

山田恭司

「日本資本主義の父」「実業界の父」と言われている渋沢栄一翁の生涯を描いた、NHKの大河ドラマ「青天を衝け」が12月で完結しました。

栄一翁の名前との出会いは、今から45年前、15年間在籍した経理課から外注課へ転勤、菱電埼玉（現材のホーム機器）の担当となり、週1日～2日行く事に。ルートは ① 407号熊谷経由、② 大間々、深谷街道の深谷ルート、③血洗島経由岡部ルートが利用されていましたが、私は出向の方に教えられ、③のルート（当時ほぼ農道で17号まで信号が1か所だけ）で行く事に。道すがら目に留まったのが「渋沢栄一翁生家」の案内と「血洗島」の道路標識でした。

「渋沢栄一翁」つてどんな人？ 「血洗島」この怖そうな地名の由は？ 当時ふと感じた事が思い出されます。3年程前、富岡製糸場関連で世界遺産登録となった、伊勢崎市島村の「田島弥平旧宅」を見学した折、当時の疑問を思い出し、近くでもあり翁の生家、記念館へ。大河ドラマ、新一万円札の顔の発表される前でしたので見学者は私達のみ。館員の方に事細かに案内して頂きました。

功績について敢えて書く迄もないのですが

- ① 資本主義制度の構築（制度、組織体制、運営の仕組み）
- ② 未来を見据えた近代国家、国民生活向上に向けた企業の創設
- ③ 学校、孤児院の設立、支援
- ④ アメリカ経済人を通しての民間外交（カリフォルニア移民へのヘイトクライム対策、人形交換）等

幅広い功績が書籍、TV番組等のメディアを通して近時盛んに紹介されていますが、私が感服したのは、① 近代化に向け将来を見据えた幅広い分野の組織、団体設立活動② 自身の利益でなく、国家の発展と国民生活の向上を信条とした理念による幅広い分野の活動です。多くの偉大な功績を残しながら私自身その功績と、人物像を何故知らなかったのか、それは私の義務教育時代の教科書に掲載されていた記憶がないからかと思っています。

（現在の教科書には掲載されているのかな？）

近代史の教科書では、政治体制をかえた、西郷隆盛、大久保利通等の明治の十傑、政治家の伊藤博文、板垣退助、大隈重信、思想家、教育者の福沢諭吉、三菱創設の岩崎弥太郎等と同等かそれ以上に日本近代化への功績を残しながら、何故教科書に取り上げられなかったのか、多くの偉大な功績を知り、新たな疑問を感じています。

衆議院選挙が慌ただしく実施されましたが、議員の方には是非とも、栄一翁が信条とした「個人の利害より国家、国民の繁栄を優先活動」、「将来を見据えた活動」「行動力」を実践して欲しいと思っています。

莫大な国債残及び恒常的な財政赤字、少子化、中国、韓国に追い越された産業の巻き返し、国家戦略として産業の発掘及び支援、緊急事態に於ける薬事、医療制度の再構築等、給付金や、GO-TO何やら等の目先の事もさる事ながら、10年～30年先迄全国民が夢と希望を感じられる政治を与野党共、行って欲しいと思っています。

「参考」

深谷市血洗島の記念館ですが、尾島から 30 分位と近距離です。新一万円札の顔でもあり、是非記念館へ行かれたらと思います（入場無料でした）
尚、現在は少し混んでるか、平日に行かれたら良いと思います。

・太田市立宝泉中学出身のプロゴルファー「渋沢莉絵留」さんは翁の一族のようです。
清水建設（栄一翁と幕臣への行動を共にした渋沢喜助が初代社長）がスポンサー企業となっています。（賞金ランクはまだ 100 位以下）応援しましょう！

・「血洗島地名の由来」は深谷市のホームページに三例が記載されています。参照ください。

http://www.city.fukaya.saitama.jp/shibusawa_eiichi/shokai/story/1400203254187.html